TANITA
健康をはかる

タニタ電子尿糖計
ユーチェック®
UG-120-H
UG-120-S

このたびは、タニタ電子尿糖計をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お願い

誤った使い方をしますと、重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。また、必要な時にはすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。

※本書に記載されているイラストはイメージ図です

取扱説明書 保証書付

タニタ電子尿糖計の特徴 ..... 表紙裏
必ず守ってください 1
安全上のご注意と使用上のお願い 2

ご使用前の準備 5

箱の中身を確認しましょう 5
ご使用時の注意 7
準備しましょう 9
　電池をセットする 9
　スタンドを組み立てる 10
　センサーカートリッジの取り付け 11
　基準あわせを行う 13

尿糖計の使い方 18

測定のしかた 19
正確な測定と結果の管理について 24
尿糖計を持ち運ぶときは 26

困ったときに・お手入れ 28

センサーカートリッジの交換 29
電池の交換 30
こんな表示が出たときは 31
エラー表示（Err など）が出た場合 32
お手入れの方法 32
仕様・保証書アフターサービスについて 33

監修 タニタ体重科学研究所 所長 池田 義雄 先生

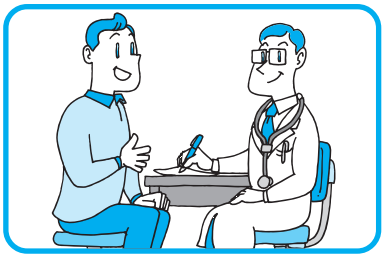
UG1207601(0)-1307CA

タニタ電子尿糖計UG-120の特徴

どこでもだれでも簡単高速測定	●センサー部に直接、尿をかけるだけなので、どこでもどなたでも手軽に尿糖を測定できます。 ●尿を検出すると自動的に測定が始まり、6秒で測定値を表示します。(尿糖を最小10mg/dL単位でデジタル表示)
高精度測定を可能にした第4のフッ素層	●特別な酵素の働きを応用して尿中の糖(グルコース）を電気的に測定します(酵素電極法)。 ●尿糖測定に影響を与える物質(尿中に含まれるビタミンCなど)についても、特殊な膜をセンサー部にコーティングすることで、その影響を最小限におさえています。
長寿命センサー	●センサーカートリッジは、取付から60日以内に200回の測定ができます。

正確に測定するために	●はじめてのご使用時や、センサーカートリッジを新しいものと交換したときはセンサーの基準あわせをしてください。 ●ご使用中でもセンサーの感度補正が必要になると基準あわせの表示が出ます。その場合は基準あわせを行ってください。

必ず守ってください

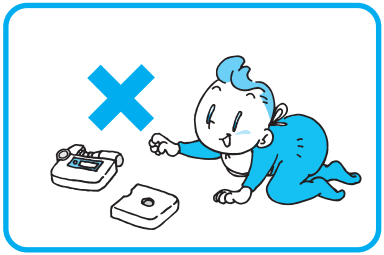


気がかりなことがあったら、必ず医師に相談を

尿糖計は、尿中の糖を測定して、健康状態のチェックとコントロールに役立てるものです。何らかの症状がある場合は、測定結果に関わらず必ず医師に相談し、指示に従ってください。

⚠警告 自己診断は危険です

糖尿病などの専門的な診断を行うことはできません。測定結果のみでインスリン注射量、経口薬などの処方調節をしないでください。必ず医師の指導に従ってください。



⚠注意 乳幼児の手が届かないように

お子様が尿糖計を誤って口に入れたり、保存液などを飲んでしまったりすることがないようにご注意ください。
保存液、基準液には毒性を持つ薬品は使われていませんが、おなかをこわすことがあります。

安全上のご注意と使用上のお願い

尿糖計を安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

表示内容に従わず誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告 指示を守らなかった場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。

⚠注意 指示を守らなかった場合に、軽傷を負う可能性、または、本製品以外の他の財物への損害の可能性が想定されることを示します。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

してはいけないことを示します。

書かれた通りに実行していただく必要があることを示します。

⚠警告

自己診断による処方調節をしないでください。

本機は尿中の糖(グルコース)を検出するものであり、糖尿病などの専門的な診断を行うことはできません。測定結果のみでインスリン注射量、経口薬などの処方調節をしないでください。自己判断せずに必ず医師の指導に従ってください。

ペースメーカー装着中の方は胸のポケット等に入れないでください。

本機は磁気スイッチを使用してます。心臓ペースメーカーを装着している方が胸ポケット等に入れて携帯すると誤動作の危険があります。

電池をお子様の手の届く所に置かないでください。

万一飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。
深夜など、お近くの医師に相談できない場合は、下記へ電話して指示を受けてください。

毒性等に関するお問い合わせ先
(財)日本中毒情報センター　中毒110番
(大阪)072-727-2499 365日 24時間対応

⚠注意

極端な高温・低温の場所に置かない(5～40℃で保管)

センサー部にバイオセンサーを使用しています。駐車中の車内、航空機の貨物室、零下になるようなトイレなどに置かないでください。正しく測定できなくなることがあります。

保存液や基準液を飲まない

おなかをこわすことがあります。

電池を火の中に投げ込まない

破裂するおそれがあります。

乳幼児の手の届くところに保管しない

事故やトラブルの原因になります。

お願い

尿糖値の変動に注意する

尿糖値は個人差、測定時間(食前・食後)、薬剤の服用、ビタミンCや水分の過剰摂取、肉眼的血尿や細菌尿等により影響を受けるため、必ずしも重症度と一致しない場合があります。

ヒトの尿以外の測定に使用しない

動物の尿、飲料物、薬品などをセンサー部にかけないでください。故障の原因になることがあります。

湿度が極端に高い場所や低い場所で測定しない

正確に測定できなくなるおそれがあります。

保存液、基準液に古いものを混ぜたり、違う液体を混ぜない

正確に測定できなくなるおそれがあります。

尿を紙コップなどに受けるときは、排尿直後に測定する

尿の温度が下がると、正確に測定できなくなるおそれがあります。

お願い

尿糖計を尿糖測定以外の目的で使用しない

事故やトラブルの原因になります。

直射日光の当たる所に置かない

故障して、正確に測定できなくなるおそれがあります。

スタンドから取り出した状態で尿糖計を放置しない

センサー部の乾燥により、測定できなくなるおそれがあります。

測定後は必ずセンサー部を洗浄してから、スタンドに収納する

ご使用にならないときは、常にスタンドに戻し、センサー部を保存液に浸した状態で保管してください。

センサーカートリッジの交換時は、必ず、保存液、基準液ボトルも新しいものに交換する。

保存液や基準液が古くなると、正確に測定できなくなるおそれがあります。

保存液に尿が入ったり、汚れたりした場合は、必ず新しい保存液に交換する

保存液が汚れると、正確に測定できなくなるおそれがあります。

廃棄方法

交換により不要となった古いセンサーカートリッジ、電池、ボトルなどは、各自治体の廃棄・処理方法に従ってください。

箱の中身を確認しましょう

※万一、足りないものがあるときは、お買い上げの販売店またはお客様サービス相談室（☎0120-133821）までご連絡ください。

本体

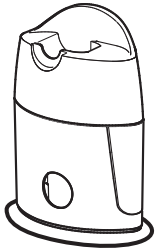
尿糖計本体
センサーカートリッジを取り付けて使います。

保存液ボトル

洗浄ボトル
センサー部を洗浄する水を入れるためのボトルです。水が手に入らない場所で測定するときに携帯します。

カバー
尿糖計を持って外出するとき、このカバーに入れて携帯します。中央の丸穴は、外した保存液ボトルを立てかけるための穴です。

スタンド
(台座付き)



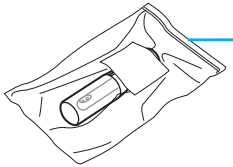
コイン形リチウム電池(お試し用)
(CR2032)×1個

添付文書　簡単ガイド　小冊子「活用のヒント」
取扱説明書（本書：保証書付き）

センサーカートリッジ（別売）

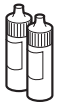
●センサーカートリッジは60日以内に200回の測定で交換が必要です。交換時期が近づくと「センサー」の点滅でお知らせします。(交換方法については29ページ参照)

センサーカートリッジ



本体との接続部には保護キャップがついています。取り付け時に外して捨ててください。
センサー部は保存液で満たされています。万一、不足している場合はお客様サービス相談室までご連絡ください。

補充用保存液
保存液ボトルに保存液を補充するためのものです。



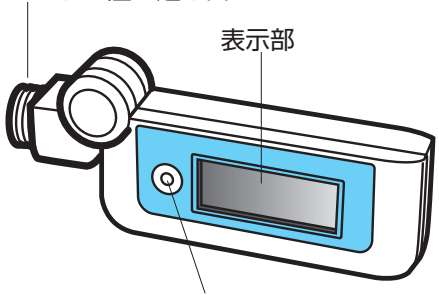
基準液×2
測定値の基準をあわせるために使用するもので、一定濃度の糖が含まれています。

添付文書

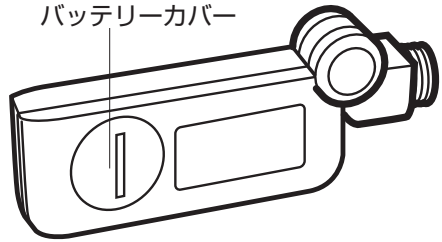
動画での説明もあります　http://www.ucheck.jp

各部の名称

表

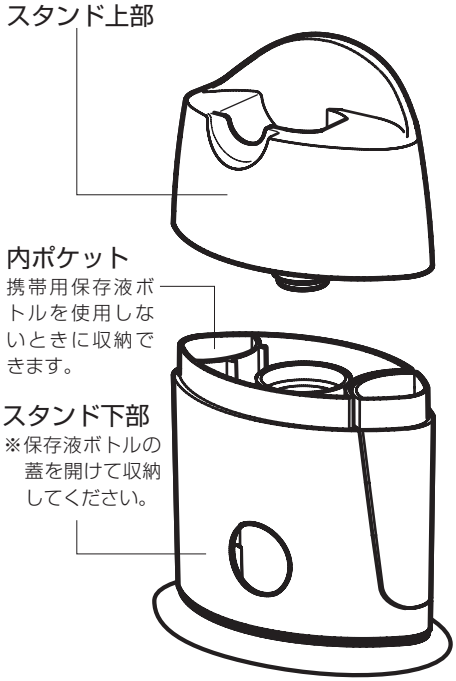


裏



表示部

スタンド

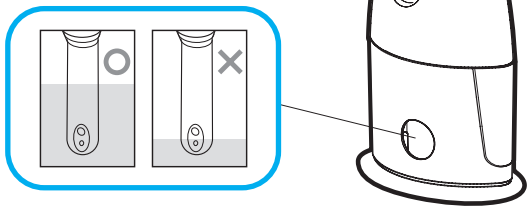


ご使用時の注意

保存液の残量に注意

センサー部は常に保存液に浸かっている必要があります。

センサー部が保存液に完全に浸かっているか確認する

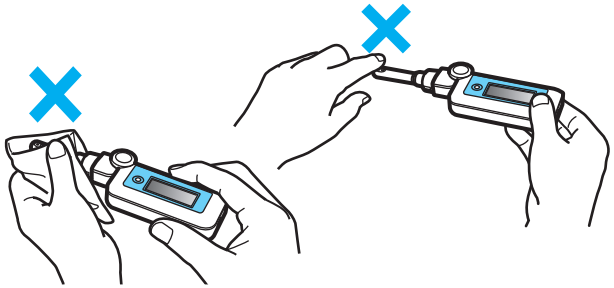


センサー部が液に浸かっていない場合は、完全にセンサー部が浸かるまで補充用保存液を補充してください。すぐに補充できない場合は、水道水を補充し、なるべく早く新しい保存液に入れ替えてください。センサー部が乾燥してしまうと、測定できなくなり故障の原因となります。

必ず尿糖計の表示部を手前に向けて立ててください。

持ち運ぶときは必ずスタンド下部を持ってください。上部を持つと下部が外れて液がこぼれる可能性があります。

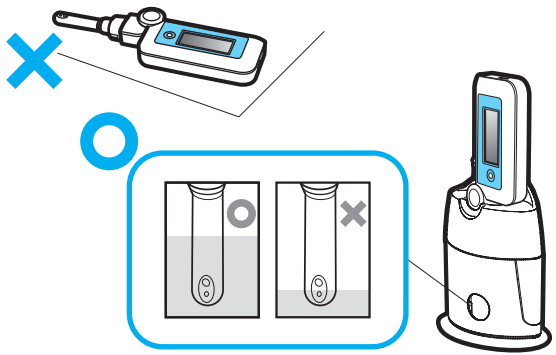
センサー部に触れない



センサー部のくぼみに直接触れないでください。

センサー部には測定のために特殊な処理がされています。この部分に傷が付くと測定ができなくなるおそれがあります。ご使用後の洗浄時に付着した水滴をティッシュペーパーなどで拭くときは、センサー部の根本の部分のみを拭くようにし、先端のくぼみの部分には触れないでください。センサーカートリッジを取りつけるときなども、先端部には直接触れないように注意してください。
また、センサー部の洗浄時には必要以上の強い水流をかけないようご注意ください。

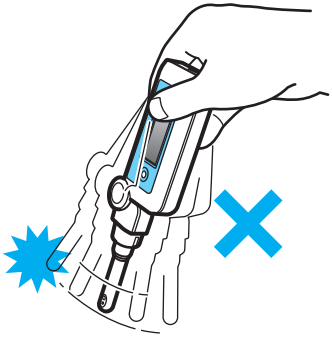
センサー部を乾かさない



尿糖計をスタンドから出した状態で放置しないでください

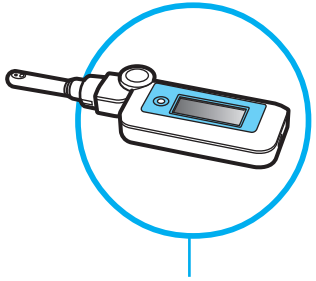
尿糖計をスタンドから出した状態で3分以上放置すると画面が消え、ボタンを押すか、センサー部を収納すると「Err」が表示されます。再度使用するには基準あわせを行ってください。センサー部が乾燥すると測定できなくなり故障の原因となります。ご使用にならないときは必ずスタンドに収納して保管してください。

本体を振ったり、叩いたりしない



ご使用後に洗浄するときなど、滴を切るために振ったり叩いたりしないでください。
内部に精密機械が入っているため、故障の原因になります。

水濡れにご注意（丸洗いはできません）



この部分を濡らさないように

尿糖計の表示部、ボタン、センサーカートリッジとの接続部などは、防水構造ではありません。洗浄時に水をかけたり、流しや便器に落としたりしないよう、ご注意ください。故障の原因になります。

準備しましょう

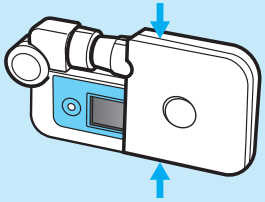
尿糖計をご使用になる前に、
次の準備が必要です。

準 備

電池をセットする 9ページ
▼
スタンドを組み立てる 10ページ
▼
センサーカートリッジを取りつける 11ページ
▼
基準あわせを行う 13ページ

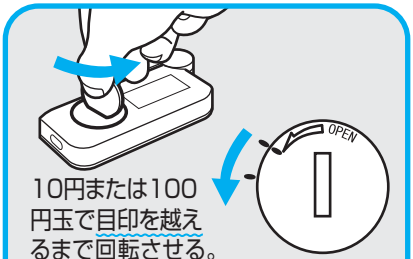
●ご案内

尿糖計をカバーから取り出すときは、カバーの両脇を押さえて引き抜いてください。



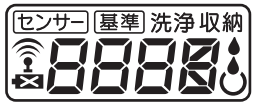
電池のセット

1 電池カバーを外す



▲電池カバーの印が本体の目印を越えるようにコインなどで回転させるとカバーが取り外せます。

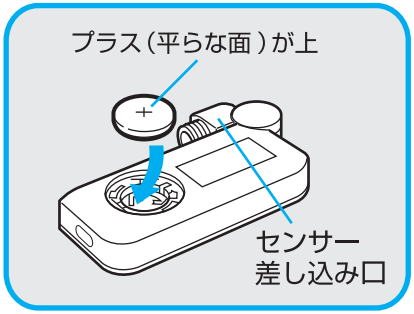
▼電池をセットすると表示部が一時的に全点灯状態になりますが、しばらくして消灯します。



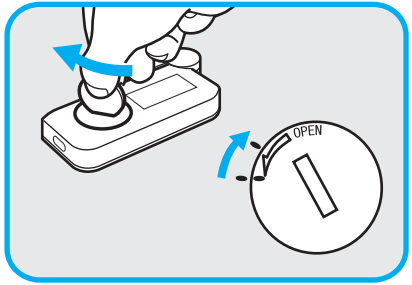
電池の向きに気をつけて正しくセットしてください。向きを間違えると発熱・故障のおそれがあります。

●センサー差し込み口はまだ起こさないでください。

2 電池をセットする



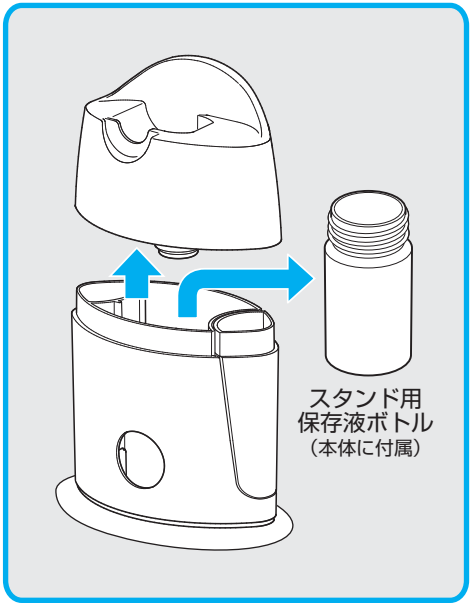
3 電池カバーをつける



▲①と逆の操作で電池カバーを取りつけます。

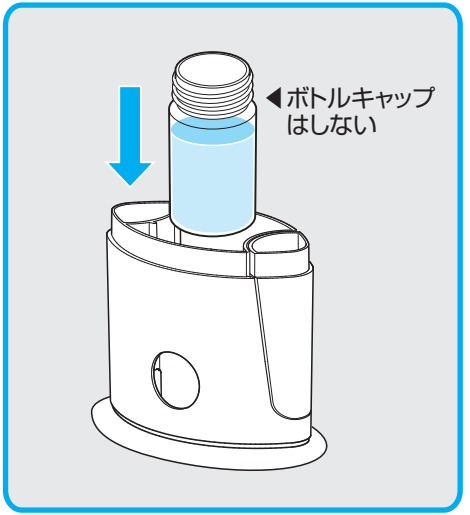
スタンドを組み立てる

① スタンド上部を外しスタンド用保存液ボトルを準備する



② スタンド用保存液ボトルに補充用保存液を補充する

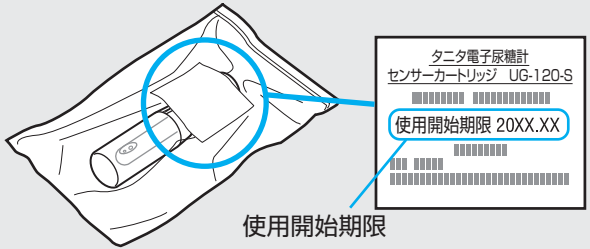
③ スタンド用保存液ボトルをスタンド下部に収める



センサーカートリッジの取り付け

新しいセンサーカートリッジを取り付けても、すぐには測定できません。
基準あわせをしてから、測定できるようになります。

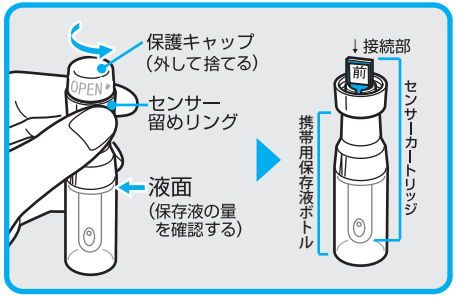
1 使用開始期限を確認してから、センサーカートリッジを取り出す



●使用開始期限内について
- センサーは使用開始期限内に本体に取り付けて使用を開始してください。
- 本体に取り付けた日から60日以内に200回の測定ができます。
- 交換時期が近付くと「センサー」の点滅表示でお知らせします。(29ページ参照)

●ご注意
センサーカートリッジは消耗品です。本体に取りつけたらご使用にならなくても60日後には使えなくなります。使用開始期限は尿糖計本体の保証期間とは異なりますのでご注意ください。

2 センサーカートリッジの保護キャップを外す

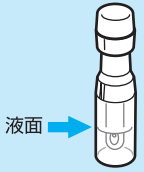


◀センサーカートリッジについている保存液ボトルには保存液が満たされています。
保存液の量を確認してから本体との接続部の保護キャップを外してください。

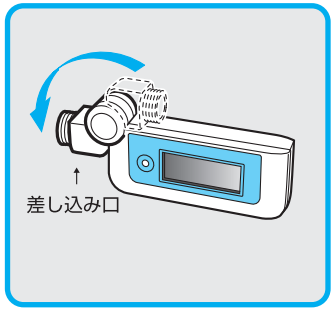
※保護キャップを外すときはセンサー留めリングを指で押さえて外してください。外した保護キャップは捨ててください。

●ご案内

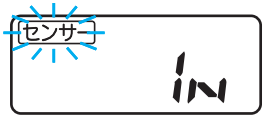
初めてお使いになるとき、センサー部は保存液で満たされています。万一、液面が右図のように不足しているような場合はお客様サービス相談室までご連絡ください。



3 差し込み口を起こす



▲本体の差し込み口を図のように起こします。

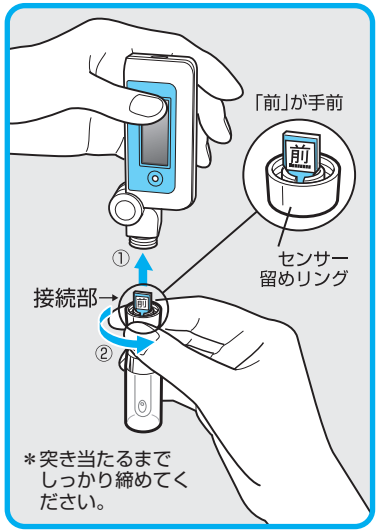


▲差し込み口を起こすと画面は図のようになります。

●ご案内

センサーカートリッジを交換する時は④⑤の操作を逆に行って古いセンサーカートリッジを取り外してください。

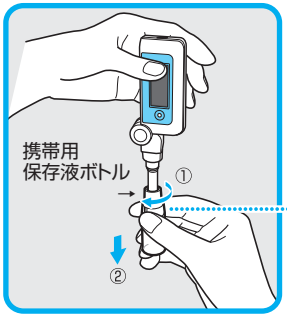
4 センサーカートリッジを取りつける



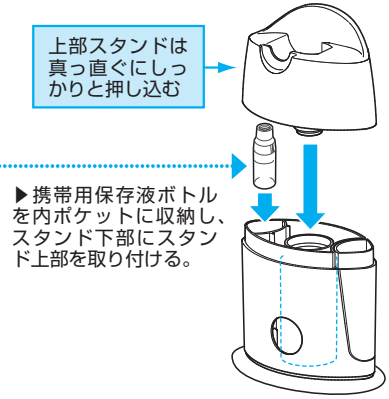
▲センサーカートリッジの接続部に「前」と表示されている部分を手前にして本体を差し込み、センサー留めリングで固定します。

▲センサーカートリッジを取りつけると「収納」が点滅します。

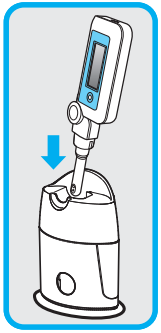
5 携帯用保存液ボトルを外す



▲携帯用保存液ボトルは垂直に持たないとこぼれますのでご注意ください。



6 スタンドに収納し、3分待つ



◀センサーが測定できる状態になるまで3分間必要です。スタンドに収納してお待ちください。

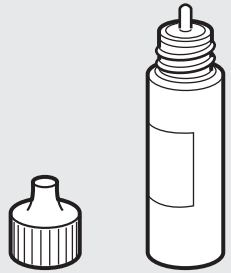
◀スタンドに収納すると画面は「収納」の点滅が消え、測定準備のために180秒のカウントダウンが始まります。カウントダウンの表示は5秒で消灯します。カウントダウンが終了するとブザーが1回鳴ります。これで組み立ては完了です。

次は基準あわせを行います。次ページに進んでください。

基準あわせを行う

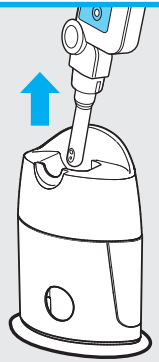
●基準あわせは尿糖計のセンサー感度を補正する操作です。
センサー取付後および、7日または25回使用ごとに必要です。
●液をかける操作です。液がこぼれても良いように、洗面所やトイレで行ってください。
●水道がないところで行う場合、あらかじめ紙コップか、付属の洗浄ボトルに水道水をご準備ください。

1 基準液ボトルのフタを開ける

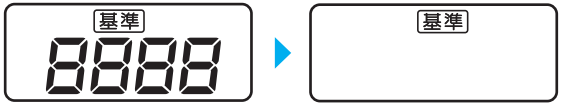


基準液ボトルのフタはあらかじめ外しておきます。

2 尿糖計をスタンドから取り出す

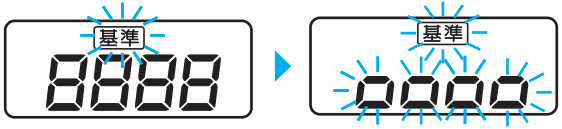


「基準」点灯時
・センサー取付後
・14日または50回使用後
・電池取付後



◀「基準」と「8888」が5秒間点灯した後、「基準」のみの点灯になります。

「基準」点滅時（基準あわせ予告）
測定できますが、早めに基準あわせを行ってください。
・7日または25回使用後

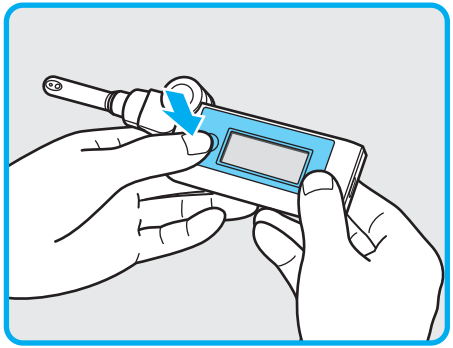


◀「基準」の点滅と「8888」の点灯が5秒間続いた後、「基準」と「oooo」の点滅になります。

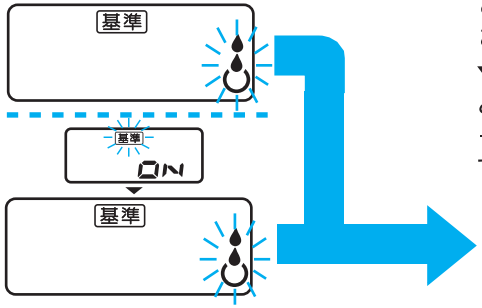
＊基準あわせのタイミングは17ページをご覧ください。

動画での説明もあります　http://www.ucheck.jp

3 尿糖計のボタンを押す

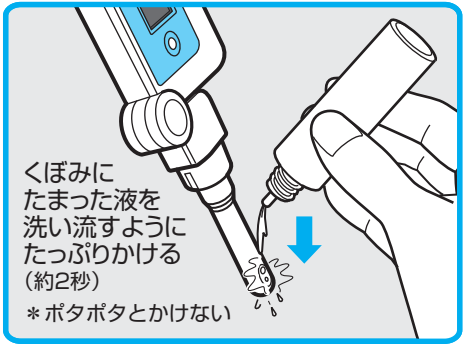


▲尿糖計のボタンを押すと基準液の滴下マーク( )が点滅します。



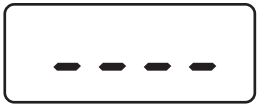
▲ボタンを長押し(約3秒)して滴下マーク( )を点滅させます。長押ししている間は「ON」が表示されます。

4 センサー部に基準液をかける



▲基準液ボトルを押してセンサー部に基準液をかけます。再度基準液をかける場合があるのでボトルのフタは外したままにしておきます。

▼基準液をかけ、しばらくすると画面が「－－－－」、「－－－」、「－－」、「－」の順に消えていきます。



▼「基準」が点灯する場合は再度尿糖計のボタンを押します。

次ページ⑤に進みます。

次ページ⑥に進みます。

▲「OK」が表示されたら次は洗浄します。

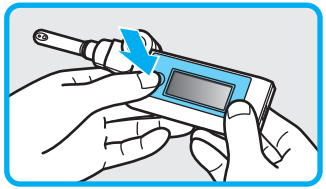
●ご案内

●新しい基準液ボトルには約15mLの基準液が入っています。1本のボトルで約7回の基準あわせができますが、万一基準液が不足したときは、お客様サービス相談室までご連絡ください。

●基準液が机などにこぼれたときや、手などについたときはふき取ってください。基準液には毒性、刺激性のある薬品は含まれていません。

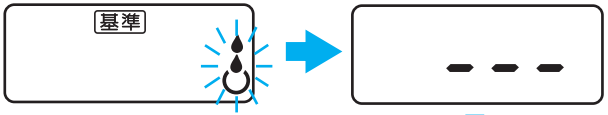
5 再度ボタンを押し、基準液をかける

④でOKが出なかった場合、再度尿糖計のボタンを押して滴下マークを点滅させます。



▲尿糖計のボタンを押す。

▲２回目の基準液をかけると画面は「－－－」の表示から消えていきます。



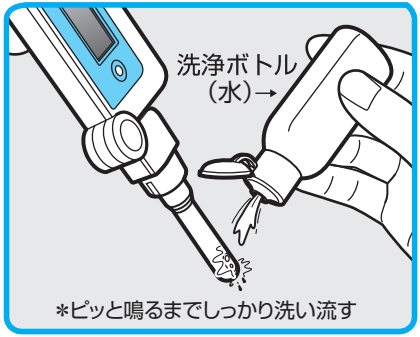
▶「OK」の表示と「洗浄」の点滅を確認します。

6 センサー部を洗浄する

◀ピッと鳴って「収納」が点滅するまで洗浄します。通常は５秒かかります。

洗浄剤などが入っているタンクの水で洗浄しないでください。正しく測定できなくなる恐れがあります。

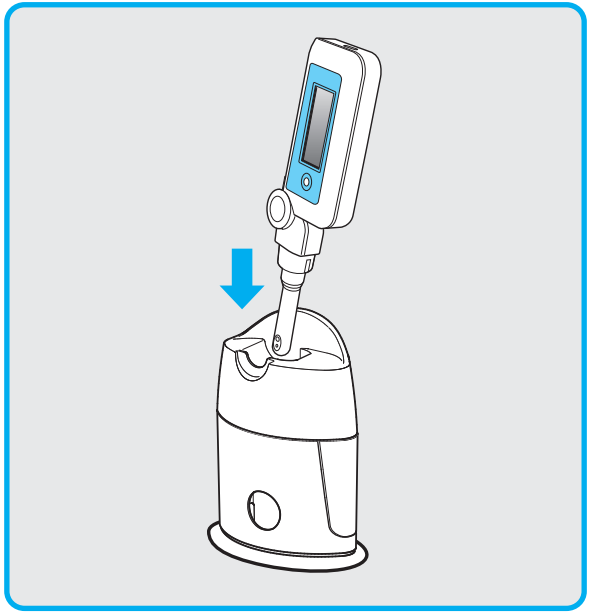
▶付属の洗浄ボトルに水を入れ、洗い流すことも可能です。



●ご案内

２回目も「OK」が出ない時がありますが、再度⑤の操作を繰り返してください。３回目に左図のような画面になるので⑥に進んでください。
何度行ってもこのような状況が続くときは、お客様サービス相談室までご連絡ください。

7 尿糖計をスタンドに収納する



基準あわせのタイミング

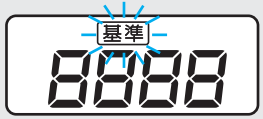
ここではその後の測定期間も含め「基準あわせ」のタイミングについて説明しています。

●最初の基準あわせが完了してから７日の経過もしくは25回の測定が完了すると「基準あわせ」が必要になります。

●全体で60日以内に200回の測定でセンサー交換になります。

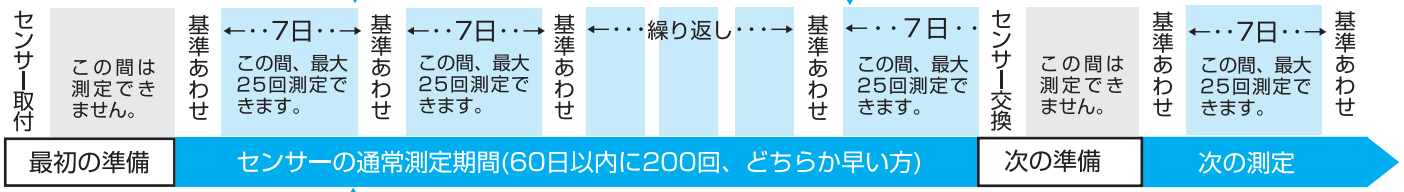
●基準あわせ予告

最初の基準あわせから7日の経過もしくは25回の測定があると、「基準」が点滅します。これは基準あわせの予告ですので早めに基準あわせをしてください。点灯状態になると測定できなくなります。



●センサー交換予告

センサー寿命の7日前、または測定回数が残り10回になると「センサー」が点滅します。早めに新しいセンサーカートリッジをご用意ください。点灯状態になると測定できなくなります。



※「8888」は尿糖計を開いた時、5秒間点灯します。

基準あわせの先送り

旅行などで基準あわせがやりにくい時、「基準」が点滅している間(更に7日間、もしくは25回の測定）は測定ができます。しかし、高精度測定を維持するためにはなるべく7日ごとの基準あわせをおすすめします。

尿糖計の使い方

次のページから、実際に尿糖を測定するときの
操作手順について説明しています。

測定の判定目安や、すぐに洗浄できないとき、
測定結果を忘れてしまったときなどの
操作についても説明しています。

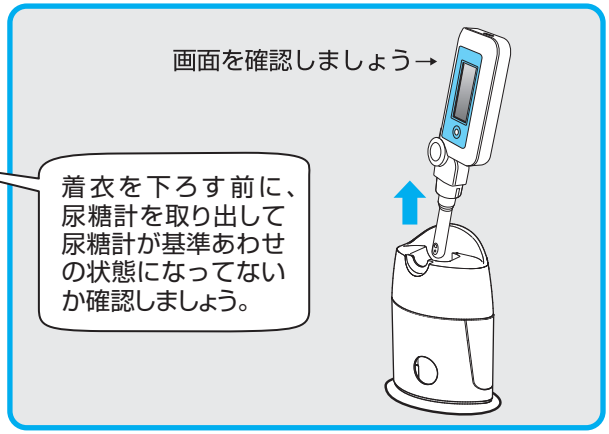
はじめてお使いになるときは、
よく読んでから測定してください。

食後の尿糖を測定するときは、食事直前に排尿し、
食後約2時間経ってからの測定がおすすめです。

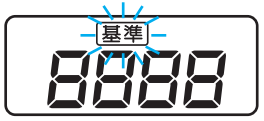
測定のしかた

1 着衣を下ろす前に尿糖計を取り出して表示を確認する

●測定後の洗浄のため、あらかじめ紙コップか、付属の洗浄ボトルに水道水をご準備ください。



▲尿糖計をスタンドから取り出すと、「8888」が5秒間点灯します



▲「8888」の点灯とともに「基準」が点滅するときは基準あわせをおすすめします。基準あわせについては13ページを参照してください。

●ご案内

●ご使用のときは、尿のはね飛びを防ぐため、男性も便座に腰を下ろして測定することをお勧めします。

●尿を紙コップなどに受けても測定することができます。尿が温かいうちに、尿糖計のセンサー部でかき混ぜるように測定してください。

●ヒトの尿以外は測定しないでください。故障の原因となります。

●投薬、ビタミンCや水分などの過剰摂取、肉眼的な血尿や細菌尿等によっては測定値に影響することがあります。

動画での説明もあります　http://www.ucheck.jp

●ご案内

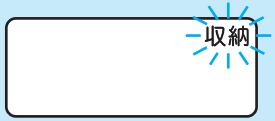
次のような表示が出るときは、測定できません。

基準あわせが必要です。
13ページへ進んでください。

センサーカートリッジの交換が必要です。29ページをご覧ください。

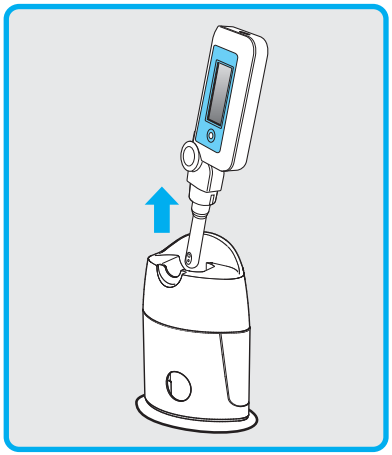
「Err」などが表示されるときは尿糖計に異常があります。
32ページへ進んでください。

1分間、尿を検出しないと測定できなくなります。洗浄して収納してください。



測定終了後3分間は、次の測定はできません。

2 着衣をおろし、尿糖計をスタンドから取り出す

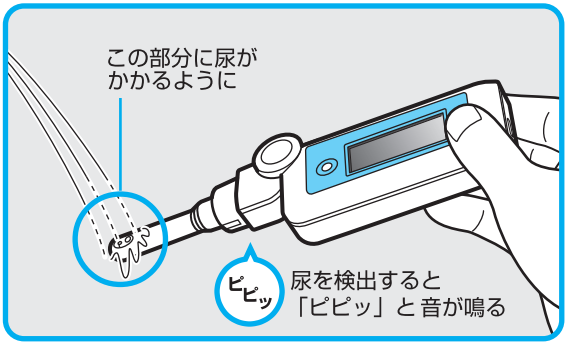


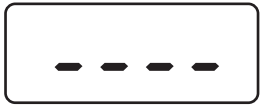
▲「8888」の表示から「oooo」の点滅になったら測定できます。

正しく測定するために、尿糖計を振ったり、センサー部の水をふき取ったりしないでください。

次のページに進みます。

3 センサー部に尿をかける





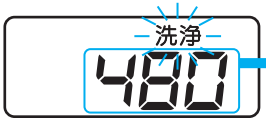
◀尿を検出すると表示部に「－－－－」が表示され、－が一つずつ消えていきます。

●ご案内

センサー部のくぼみに直接尿をかけると、はね飛ぶので気をつけてください。尿が出始めて勢いのあるうちは、はねやすいので勢いが弱まってからかけるようにするとはねを防ぐことができます。

4 測定結果が表示される

尿を検出してから6秒後に「ピピピッ」と鳴って、測定値が表示され、同時に「洗浄」が点滅します。



◀測定値（尿糖値）は尿1デシリットル（1dL=100mL）中に含まれる糖10ミリグラム（10mg=100分の1g）単位で表しています。測定結果については下表を参照してください。

測定値の判定目安

測定値(mg/dL)	判　定	説　明
50未満	ほとんど尿糖は検出されませんでした。	今後も尿糖が検出されないように定期的な測定をおすすめします。
50～100未満	少し尿糖が検出されました。	尿糖は食事や運動と密接に関係しています。日常的に検出される場合は、医師に相談の上、尿糖値を下げるように継続的な測定をおすすめします。
100以上	多めの尿糖が検出されました。	

●ご案内

●測定結果の最小表示は下記のようになります。

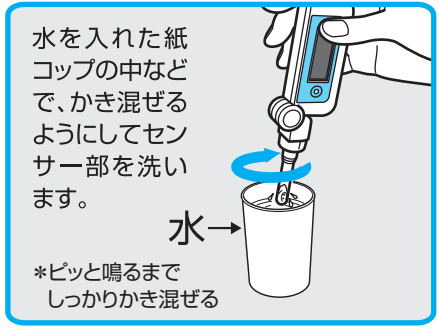
0～　200 mg/dLの範囲では　10 mg/dL単位表示
200～　500 mg/dLの範囲では　20 mg/dL単位表示
500～1000 mg/dLの範囲では　50 mg/dL単位表示
1000～2000 mg/dLの範囲では 100 mg/dL単位表示

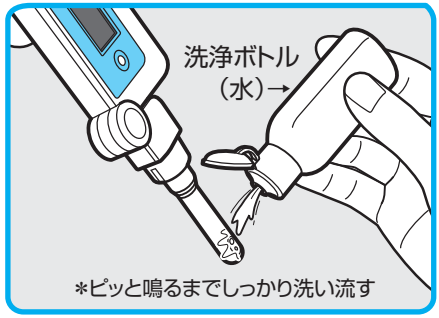
次のページに進みます。

5 センサー部を洗浄する

測定結果に関するご注意

- 尿糖値が50mg/dL以下の場合であっても、他の所見と合わせて診断する必要があるので、定期的な健康診断は受診してください。
- 尿糖値が50mg/dL以上検出された場合は、必ず医師に報告し、受診してください。
- 糖尿病の確定診断を受けた方は、医師の指導のもと他の方法と合わせて管理してください。





▲洗浄ボトルに水を入れ、洗い流すことも可能です。

●ご案内

洗浄にあたってのご注意

- 尿糖計本体は防水ではありません。とくにセンサーカートリッジと本体の接続部に水がかからないように気をつけてください。
- トイレ内に水道の蛇口があるときは、直接水道水をかけて洗浄することもできますが、水の勢いが強くなりすぎないように気をつけてください。
- 水道水が赤みを帯びているときや白濁があるときなどは、正確な測定ができなくなります。濾過フィルターを通した水道水・蒸留水（薬局でお求めください）などをお使いください。
- トイレ洗浄剤などが入っている水では洗浄しないでください。

これで、測定完了です。

次ページも参考にしてください。

6 「収納」が点滅するのを確認する

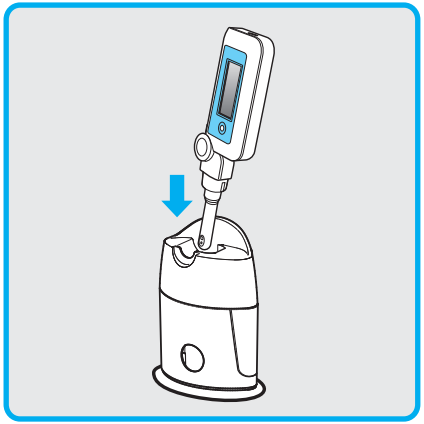
▲「ピッ」と鳴って「収納」が点滅するまで洗浄を続けてください。通常は約5秒かかります。洗浄を始める前に「収納」が点滅することがありますが洗浄は必ず行ってください。故障の原因となることがあります。

洗浄しないでスタンドに収納しないでください

保存液が汚れ、正確に測定できなくなります。

※万一、洗浄しないで収納してしまった場合はただちに洗浄し、保存液ボトルの保存液はすべて入れ替えてください。その後、3分以上経ってから基準あわせをしてください。

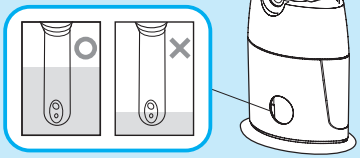
7 尿糖計をスタンドに収納する



※続けて測定したい場合は3分お待ちください。

●ご案内

収納するときには必ず保存液の量を確認しましょう。不足している場合は補充してください。



必ず尿糖計の表示部を手前に向けて立ててください。

持ち運ぶときは必ずスタンド下部を持ってください。上部を持つと下部が外れて液がこぼれる可能性があります。

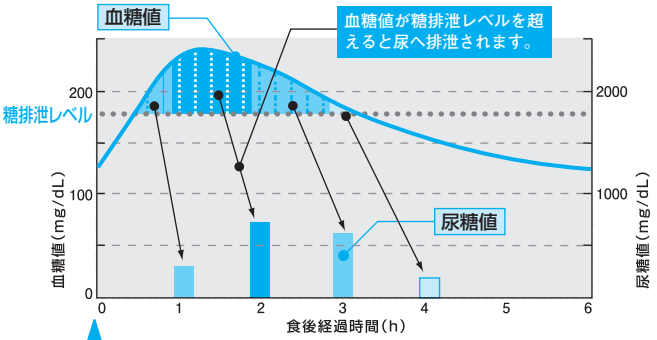
正確な測定と結果の管理について

タニタは糖尿病の予防改善に向けてユーチェックサイクル（食後尿糖自己測定による生活習慣の改善行動）を推進します。

1 正確に測定するために

食後尿糖を正確に測定するには、食事直前に一度排尿し、食後約 2 時間の測定がおすすめです。

食後の尿糖と血糖の関係(糖尿病患者の例)



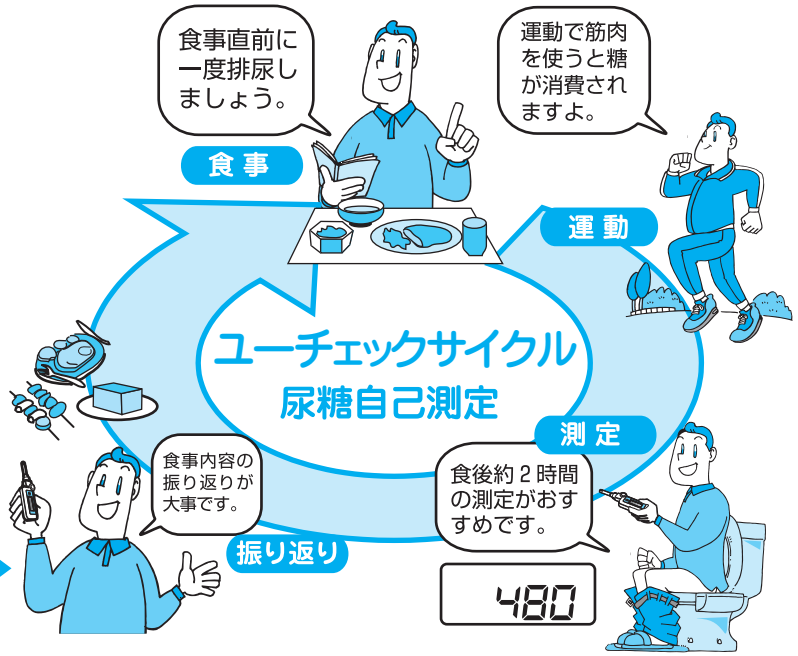
食後高血糖（180mg/dl以上）になると血糖値が腎臓の糖排泄レベルを超えるため、尿糖値が高くなります。

何を食べたとき高い尿糖が検出されたか！

食後の血糖値が糖排泄レベルを超えるほどの高血糖になっていた点に留意し次の食事内容に反映させましょう。

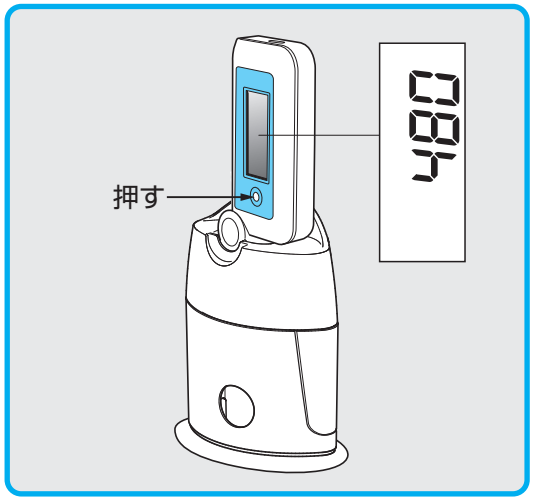
2 ユーチェックサイクルのすすめ

ユーチェックサイクルで食後高血糖にならない食習慣を体得してみませんか。



3 測定結果を忘れてしまったとき

尿糖計をスタンドに収納した状態でボタンを押すと過去の測定記録が(8回分)表示されます。



▲尿糖計をスタンドに収納した状態でボタンを押すと、「1　」を1秒点灯した後に前回の測定記録が表示されます。

◀過去のデータがない場合は「____」を10秒間点灯した後、消灯します。

◀前回の測定記録が10秒間表示されます。

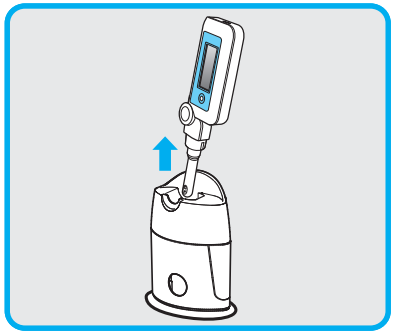
◀前回の測定記録が表示されている間に再度ボタンを押すと「2　」が1秒間点灯し、

◀前々回の測定結果が表示されます。同様の操作を繰り返すことで過去8回までの記録が表示可能です。それ以後は繰り返しになります。

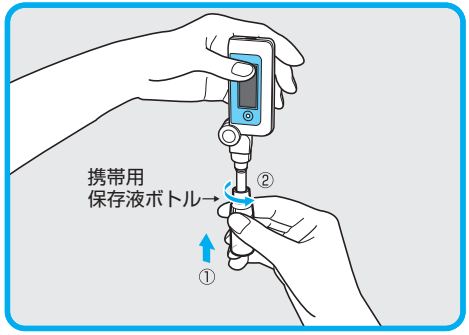
尿糖計を持ち運ぶときは

携帯用保存液ボトルを取り付けると
コンパクトに持ち運ぶことができます。

1 尿糖計をスタンドから取り出す

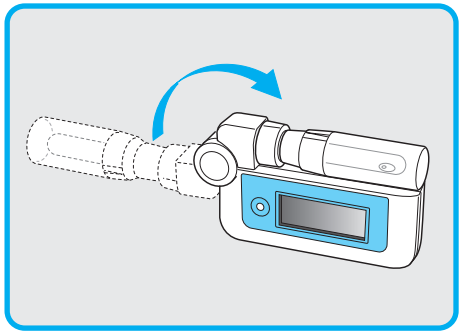


2 スタンド内ポケットから携帯用保存液ボトルを取り出し、センサーに取り付ける



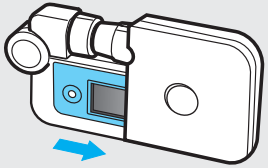
▲携帯用保存液ボトルは垂直に持たないとこぼれますのでご注意ください。

3 尿糖計を折りたたむ



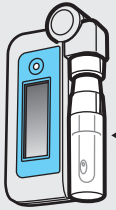
▲尿糖計を折りたたみ(収納)ます。

4 カバーに入れる



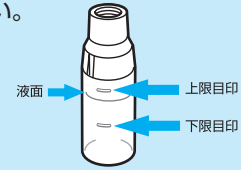
保存液の残量に注意

センサーカートリッジに付属している保存液ボトルにはセンサー部を常にぬれた状態に保つための保存液が充填されています。右図のように保存液ボトルが取り付けられている状態で、液面がセンサー上端をつねに上回っているように注意してください。



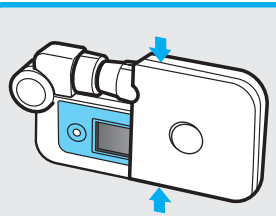
●ご案内

保存液を交換する際は、ボトルに示されている上限・下限の目印の範囲内に充填してください。
上限を超えて入れるとボトルを取りつけた時に保存液があふれ出るのでご注意ください。



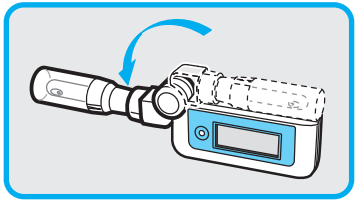
携帯時の測定方法

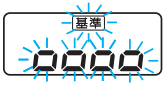
1 カバーを外す



尿糖計をカバーから取り出すときは両脇を押さえて引き抜いてください。

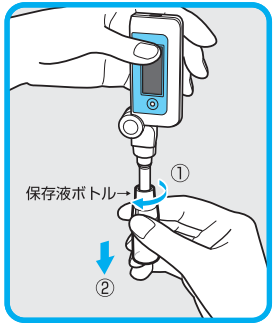
2 尿糖計を開くと電源が入る





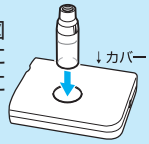
◀「8888」の表示から「oooo」の点滅になったら測定できます。

3 保存液ボトルを外す



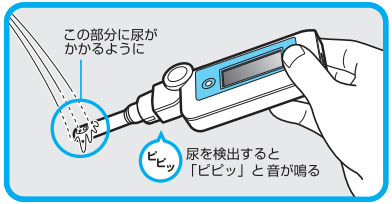
●ご案内

外した保存液ボトル右図のようにカバーの丸穴に差し込んでおくと倒れにくいです。



◀携帯用保存液ボトルは垂直に持たないとこぼれますのでご注意ください。

4 センサー部に尿をかける



▶尿を検出すると表示部に「−−−−」が表示され、−が一つずつ消えていきます。

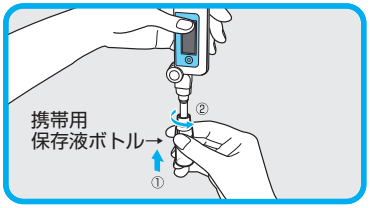
5 測定結果が表示される

▲尿を検出してから6秒後に「ピピピッ」と鳴って、測定値が表示され、同時に「洗浄」が点滅します。

▶洗浄ボトルの水で洗い流してください。

6 センサー部を洗浄する

7 携帯用保存液ボトルを取り付ける



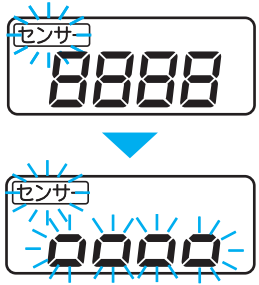
▲携帯用保存液ボトルは垂直に持たないとこぼれますのでご注意ください。

8 尿糖計を折りたたみカバーに収納する

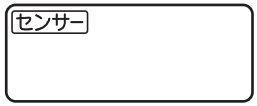
困ったときに/お手入れ

ふだんとは違う表示が出て
測定できないときの対処方法や、
エラー表示の対処方法、
お手入れの方法などを説明しています。

センサーカートリッジ交換



センサーカートリッジの交換時期が近づいてくると尿糖計をスタンドから取り出したときに、「センサー」の表示が点滅するようになります。続いて「oooo」が点滅し測定可能状態になります。あと数回の測定が可能ですが、交換用のセンサーカートリッジを早めにご用意ください。



「センサー」の表示が点灯したままのときは測定できません。ただちにセンサーカートリッジを交換してください。

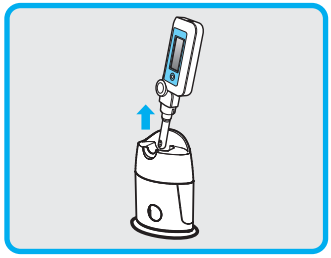
新しいセンサーカートリッジが用意できたら、古いセンサーカートリッジを取り外してください。

古いセンサーカートリッジは、各自治体の廃棄・処理方法に従って捨ててください。

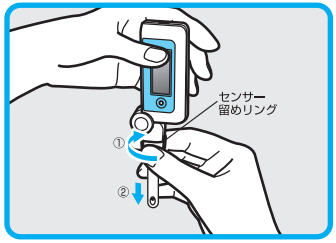
●ご案内

交換用のセンサーカートリッジは、この尿糖計をお買い求めの販売店でお求めいただくか、お客様サービス相談室までご連絡ください。

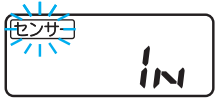
①尿糖計をスタンドから取り出す



②センサーカートリッジを取り外す



センサー留めリングを左に回し、センサーを取り外します。「センサーマーク」点滅と「IN」が表示されます。



③新しいセンサーカートリッジを取り付ける

P.11の「センサーカートリッジの取り付け」を参照し、センサーを取り付けてください。

●ご案内

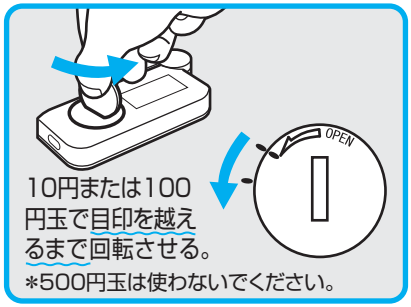
センサーカートリッジ交換時は、保存液を注ぎ足さず、新しい保存液に交換してください。交換時には保存液ボトルを水洗いしてください。

電池の交換のときは

●電池の寿命は約半年です。*付属のコイン形リチウム電池(お試し用)は工場出荷時に納められたものですので、寿命が短くなっている場合があります。

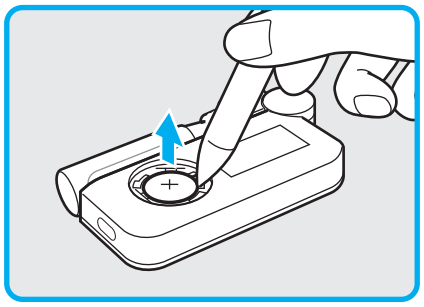
●表示部に電池マークの点滅が始まったら早めに新品の電池をご用意ください。電池マークが点灯状態になると測定できなくなります。

1 電池カバーを外す



▲電池カバーの印が本体の目印を越えるようにコインなどで回転させるとカバーが取り外せます。

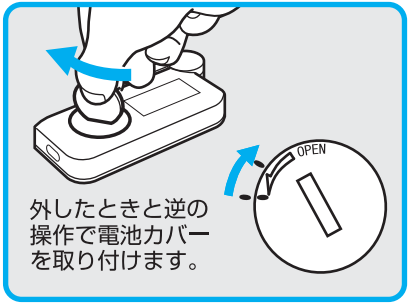
2 電池を取り出す



▲ボールペンのペン先など、先の細いもので電池を取り出します。

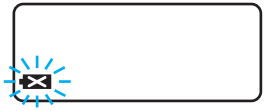
3 電池をセットする

4 電池カバーをつける



電池を交換すると1分後に基準あわせが必要です。13ページに戻ってください。

●ご案内



◀電池マークの点滅が出たら最初に電池をセットしたときと同じ操作で新品のコイン形電池(CR2032)1個と交換してください。
この時、セット済みのセンサーカートリッジは絶対に外さないで下さい。

電池はむやみに外さないでください。
電池交換すると1分後に「基準あわせ」が必要になります。また、落下などの強い衝撃を尿糖計に与えると、瞬間的に電池が切れて、同じ状態になることがあるので気をつけてください。

こんな表示が出たときは

次のような表示が出たときは、本書の指示にしたがって対処してください。それでも問題が解決しないときは、お客様サービス相談室（☎0120-133821）までご連絡ください。

基準あわせ

●「基準」が点滅すると

点滅していても「0000」が出ていればそのまま測定できます。基準あわせの方法は13ページをご覧ください。

●「０００」が点滅することがあります。

基準あわせを3回行っても「OK」にならないとき、「000」が点滅することがあります。その場合、尿糖計を洗浄して収納し、約30秒間待ってから基準あわせを再度行ってください。

「2000」点滅

●測定値が2000mg/dLを超えています。

血糖値が下がった頃（1時間後を目安）にもう一度測定してください。
2000の点滅が続く場合は、水で2倍に希釈し、測定値を2倍してください。

「00」点滅

●尿を検出できなかったことを示しています。

尿をかけたとき、測定値がきわめて低い場合もこの表示になることがあります。センサー部を洗浄してセンサーカートリッジを収納し、約3分間待ってから再度測定してください。

画面が消えた

●尿糖計を開いたまま3分以上放置すると、画面が消えます。

この場合、ボタンを押すか、尿糖計をスタンドに収納すると、「Err」が表示されます。（32ページ参照）その後、再使用する前に基準あわせが必要です。基準あわせの方法は13ページをご覧ください。

エラー表示（Errなど）が出た場合

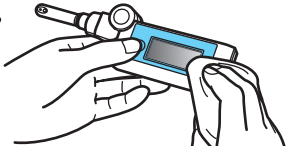
「Err」などのエラーが表示されたときは、次の表にしたがって対処してください。
それでも問題が解決しないときは、
お客様サービス相談室（☎0120-133821）までご連絡ください。

表示と出現時期	原因	対処方法
センサー 洗浄 Err　**測定前**	センサーに異常があります。	センサー部を洗浄して収納し、3分間待ってから、再度操作してください。それでも「Err」が表示されるときは、センサーカートリッジを交換してください。保存液も新しい液に交換してください。
基準 洗浄 Err　**測定後**	3分以上放置されたか、洗浄しないまま収納されました。	センサー部を洗浄して収納し、3分待って基準あわせを行ってから再度操作してください。それでも「Err」が表示されるときは、センサーカートリッジを交換してください。
基準あわせ時	基準液が検出できませんでした。または、3分以上放置あるいは洗浄しないまま収納されました。	
洗浄 ErrL　**測定時 基準あわせ時**	周囲の温度が低すぎます（5℃未満）。	センサー部を洗浄して収納します。尿糖計を適正温度環境（5～40℃）に置き、1時間以上待ってから再度操作してください。
洗浄 ErrH　**測定時 基準あわせ時**	周囲の温度が高すぎます（40℃以上）。	

お手入れの方法

本体が汚れたとき

●水を少量ふくませ、よく絞った布やペーパータオルなどでふき取ってください。



カバーが汚れたとき

●カバーは、取り外して水で丸洗いできます。洗浄後はよく乾かしてください。

●故障の原因となりますのでセンサー部には指を触れないでください。
●本体は防水ではありません。センサー部以外が濡れたときは、乾いた布やペーパータオルなどでふき取ってください。
●シンナーやベンジンを使わないでください。
●センサーカートリッジは交換時以外は取り外さないでください。

仕様・保証書・アフターサービス

仕　様

医療機器承認番号	22500BZX00202000
種　　別	機械器具19尿検査又は糞便検査用器具
一般的名称	電子尿糖計
医療機器分類	管理医療機器

販　売　名	タニタ電子尿糖計
表示方式・方法	LCDデジタル表示（文字高10.5mm）
測定対象・項目	尿・グルコース
測定方式	酵素電極法
測定時間	6秒
測定範囲	0～2000mg/dL
最小表示	0～200mg/dLまで10mg/dL,～500mg/dLまで20mg/dL ～1000mg/dLまで50mg/dL,～2000mg/dLまで100mg/dL
環境温度範囲	5～40℃
電　　源	DC3V コイン型リチウム電池（CR2032）×1個
消費電流	最大6mA（測定時）
電池寿命	約180日間（1日3回測定の場合）
メモリー機能	最新8回分の測定値を記録
製品寸法	本体：D68×W118×H22mm スタンド：D94×W113×H140mm（台座含む）
製品重量	本体：約80g（電池含まず） スタンド：約132g（台座含む）
電撃保護	内部電源機器 B形装着部
主な素材	ABS樹脂
別売り	タニタ電子尿糖計 センサーカートリッジ UG-120-S

※本製品は改良のため、予告なしに仕様変更することがあります。

〈無料修理規定〉

1、取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2、保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、弊社お客様サービス相談室に連絡の上、商品と保証書をお送りください。
3、ご贈答品等で本保証書に必要事項が記入していない場合には、弊社お客様サービス相談室へご相談ください。
4、保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。
　イ、使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　ロ、お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
　ハ、火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
　ニ、一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用、船舶の搭載）に使用された場合の故障及び損傷
　ホ、保証書の提示がない場合
　ヘ、保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
　ト、消耗部品
5、保証書は、日本国内においてのみ有効です。
6、保証書は、再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

修理メモ

※ 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間後の修理についてご不明の場合は、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

TANITA　保証書

販売店様へ
ご販売時に貴店にて、保証書の所定事項（お買い上げ日、販売店様欄に捺印）をご記入の上、お客様にお渡しください。

お客様へ
本書は、無料修理規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、弊社お客様サービス相談室に修理をご依頼ください。お客様の個人情報は、修理完了品の発送に使用させていただきます。この間、お客様の個人情報は第三者が不当に触れることのないよう、弊社規定に基づき責任を持って管理いたします。

品　　名		タニタ電子尿糖計
保証期間	本　体	お買上げ日より 1年
お買い上げ日		年　　月　　日
お客様	ご住所 お名前　　様 電　話　　（　　）	
販売店	住所・店名 ㊞ 電　話　　（　　）	

株式会社 タニタ
〒174−8630 東京都板橋区前野町1−14−2
お客様サービス相談室　フリーダイヤル　0120-133821

アフターサービスについて

1、保証書について（本体）

保証書は、この取扱説明書に付いてますので、必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げより1年間です。

2、修理を依頼されるとき

- 保証期間中は、弊社お客様サービス相談室へお電話にてご連絡の上、保証書を添えて本機をお送りください。
- 保証期間が過ぎているときは、弊社お客様サービス相談室にご相談ください。修理によって本機の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- センサーや電池、溶液などの消耗品および付属品は保証対象外です。

3、ご不明な点は弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

- センサーカートリッジのお求めは、本体ご購入の販売店、もしくは弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

株式会社 タニタ

本社・東京営業所	〒174−8630 東京都板橋区前野町1−14−2	☎03（3558）8111（代表）
大阪営業所	〒577−0013 東大阪市長田中1−3−15	☎06（6784）2811（代表）
名古屋営業所	〒465−0072 名古屋市名東区牧の原2−707	☎052（704）2201（代表）
福岡営業所	〒812−0882 福岡市博多区麦野4−2−6	☎092（575）5761（代表）
北日本営業所	〒014−0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28−1	☎0187（66）2144（代表）

ホームページアドレス　http://www.tanita.co.jp

お問い合わせ先　フリーダイヤル　0120-133821
受付時間／9：00〜18：00（土・日・祝祭日は除く）
お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町 1-14-2
タニタサービスセンター 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添 28-1